

日本セキュリティ・マネジメント学会

入会のご案内



日本セキュリティ・マネジメント学会

1. ご入会のおすすめ

● 高度情報社会とセキュリティ・マネジメント

日本セキュリティ・マネジメント学会は、1986年5月、情報システムのセキュリティ全般に関する学際的、業際的な調査研究を実施し、より健全な高度情報社会の構築に貢献することを目的に設立されました。以来、セキュリティに関連する分野の諸問題について、大会、講演会、学会誌、機関紙および研究会活動を通じ、理論的かつ実践的な検討を行ってまいりました。

● 高まるセキュリティ・マネジメント高度化の要請

高度情報社会の実現に向けて、セキュリティ・マネジメントにおいても理論と実践面の両面から高度化が求められています。政府は、情報セキュリティ総合戦略を掲げ、IT戦略本部に、「情報セキュリティ政策会議」を設置し、政府全体の情報セキュリティ対策の統一的・横断的な強化体制整備として内閣官房に「国家情報セキュリティセンター」の設置を決め、政府・自治体を中心とする公的部門での情報セキュリティの確保を精力的に進めています。民間企業もまた、個人情報漏洩事件の頻発や個人情報保護法の施行をうけて、あるいは、不正競争防止法の改正や米国企業改革法などの影響もあり、情報セキュリティ対策に本格的に取り組み始めました。経営者にもこれからの時代、情報セキュリティ・マネジメントなくして事業の発展は難しいことが理解されてきたといえるでしょう。

しかし、このような政府や企業の取り組みが具体的な成果をあげるには、まだ学問的に解明しなければならない研究課題は数多く残されています。

● 学際的な取り組みの重要性

セキュリティ・マネジメントの高度化には、工学、理学、法学、社会学、経営学、倫理学、などさまざまな学問分野にまたがる数多くの研究課題を学際的に解決していかなければなりません。企業や団体が抱える情報セキュリティ・マネジメントの各種課題を解明しその解決策を提供する応用研究の更なる発展には、その基礎となる学問分野の理論研究の進展がなければなりません。

学際的な取り組みを強化するには、その中核となり幅広い分野に影響を与えるセキュリティ・マネジメントの統一的な基礎理論を打ち立てることが今求められているといえるでしょう。この基礎理論は、各学問分野に明確な研究課題を投げかけることとなり、関連する学問分野の先端的研究との相互作用でまさにセキュリティ・マネジメントの理論研究、応用研究が学際的に発展していくことになるでしょう。

● 当学会の役割と使命

日本セキュリティ・マネジメント学会の使命とは、学際と業際の両面からセキュリティ・マネジメントの研究を加速し、その研究成果を高度情報社会の発展に生かして行くことに他なりません。

学際面の中心たる統一基礎理論への求心力と、業際面の核となる使命感の共有とを機軸に、多彩な研究者、実務家が集い、互いの専門性を尊重しつつ、刺激しあい、新たな理論や方法論を発展させる場として、社会に貢献して行くものであります。

どうか意義ある学会活動をご理解いただき、ご入会くださるよう、心よりおすすめいたします。

2. 学会の活動について

● 目的と事業

日本セキュリティ・マネジメント学会定款（抄）

・ 目的および事業

（目的）

本会は、セキュリティ全般に関する研究及び調査の実施並びに学際的、業際的な研究者相互の協力を促進し、もってより高度に発展する健全な情報社会の構築に貢献することを目的とする。

（事業）

本会は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事業を行う。

- (1)セキュリティ・マネジメントに関する研究及び調査
- (2)学際的、業際的な交流と合同の研究
- (3)学術講演会、研究発表会並びに研究会等の主催及び後援
- (4)機関誌その他図書の刊行
- (5)国内及び国外の関連学協会等との連絡及び協力
- (6)その他、目的を達成するため必要な事業

● 主な研究対象分野

・ 具体例

- (1) セキュリティ・マネジメント施策研究
 - ①ISMS(情報セキュリティ管理システム)
 - ②リスクマネジメント、リスクコミュニケーション
 - ③物理的セキュリティ対策
 - ④セキュリティポリシー及び人的管理
 - ⑤システム監査、情報セキュリティ監査
 - ⑥個人情報保護施策
- (2) セキュリティ関連制度研究
 - ①プライバシー及び個人情報保護に関する法制度
 - ②ソフトウェア著作権保護の法制度
 - ③コンピュータ犯罪・悪用に対する法制度
 - ④情報及び情報セキュリティ保険制度
- (3)セキュリティ技術研究
 - ①インターネット及びネットワーク
 - ②オープンシステム
 - ③アクセスコントロール
 - ④暗号システム
- (4) 企業活動におけるリスク対応の研究
 - ①業務継続計画及び危機対応計画
 - ②セキュリティ評価基準とリスク分析
 - ③製造物責任リスク

④環境リスク

インポジウムを開催する。

(5) その他、本学会目的を達成するために必要な事業

● 主な事業計画

(1) 研究会(分科会)の開催

必要に応じて研究会を開催する。

本学会は、研究会活動を学会活動の主要な柱としており現在下記の9研究会を定例的に開催しております。

- コーポレート・ガバナンス研究会
- 個人情報の保護研究会
- 先端技術・情報犯罪とセキュリティ研究会
- 環境マネジメント研究会
- 関西支部研究会
- セキュリティ法と経営研究会
- IT 統制研究会
- ITリスク学研究会
- 情報セキュリティ会計
- 参加申込や照会は学会 Web (<http://www.jssm.net>) に記載の各研究会の「幹事」宛に電子メール等をお願い致します。
- 研究会の運営費用は学会予算から手当てされておりますので、個別の参加費は原則としてかかりません。
- 各研究会の開催日は原則として重複しませんので、複数の研究会に参加頂けます。
- 研究会では、学会員による調査研究や外部の専門家のレクチャー等に基づき、参加者による討論を行って理解を深め、各位に役立つよう運営いたします。一流の講演会レベルから皆様のお知恵拝借レベルまで、多彩な研究内容となります。
- 正会員・学生会員はもとより、賛助会員の会社・団体の方はどなたでも各研究会に随時・随意に参加できます。ただし、資料準備の都合上、出欠の確認をさせて頂く場合があります。
- 研究会参加の会員は、研究論文の発表および論文の学会誌掲載に当たり優先度が上がります。学会誌掲載論文が本人の学術上の業績となるのはご承知の通りです。

(2) 学会機関誌、その他図書の刊行

年数回程度、学会の活動状況や研究対象分野に関する情報、学会員の論文、および調査研究報告等を掲載した機関誌を刊行する。

(3) 学術講演会、研究発表会等の主催および後援

セキュリティ・マネジメントに関する研究成果の社会的な普及および会員の啓発を図るために、学術講演会、研究発表会、各種行事等の開催および後援を行う。

(4) 学際的フォーラム等の主催及び後援

電子社会を安全に構築するための情報セキュリティを、各専門領域の研究を多角的視点から広く議論し、技術・管理運営・法制度などの協調により相乗的効果を挙げるために、学際的総合科学としての情報セキュリテ

3. 会員の特典

1. 本会の学会誌に論文を投稿することができます。
2. 本会主催の学術講演会、研究会などに参加し、研究を発表することができます。
3. 本会の機関誌、論文集などが毎号無料で配布されます他に優先して本会発行の出版物の頒布を受けることができます。
4. 本会主催の各種行事に参加することができます。賛助会員の場合、所属の社員を参加また研究発表せしめることができます。

4. 会員資格

1. 正会員

正会員は、セキュリティ・マネジメントについて学識経験のある者、もしくはセキュリティ・マネジメントの研究、およびその実施に関心のある者で、正会員 2 名以上の推薦を受けた者。推薦者に心当たりのない場合は事務局にご相談ください。

2. 学生会員

学生会員は、セキュリティ・マネジメントの研究、およびその実施に関心のある大学院生、またはこれに準ずる学校の在 student で、正会員 2 名以上の推薦を受けた者。

3. 賛助会員

賛助会員は、本会の目的、および事業を賛助する者で、役員(会長、副会長、専務理事、執行理事、理事、監事)1 名以上の推薦を受けた法人、団体など。

5. 学会会費

会員種別	年会費	入会金
正会員	9,000 円	1,000 円
学生会員	1,000 円	不要
賛助会員	1 口以上 (1 口 50,000 円)	不要

11 月以降に入会の正会員、学生会員には、入会時期に応じて初年度会費の割引があります。

6. 入会の手続き

上記会員資格のいずれかに該当し、入会を希望される方は、入会申込書に必要事項をご記入のうえ、次頁に示された申込先へご郵送ください。あるいは Web からダウンロードした申込書ファイルに必要事項を記入し、電子メールに添付して事務局 (office@jssm.net) へお送りいただいても結構です。

また、会員の種類により、上記の入会金、および年会費の合計額を、次頁に示された口座にお振り込みください。

振込受領書をもって、本学会の領収書に代えさせていただきますが、請求書、領収書が必要な場合には、その宛名ほかを事務局までお申し越してください。その他質疑あれば、事務局へご照会ください。

7. 入会申込先

日本セキュリティ・マネジメント学会 事務局
 〒160-0073 東京都新宿区百人町 1-20-3 バラードハイム
 TEL 03-3371-5183
 FAX 03-3371-5185
 E-MAIL office@jssm.net
 URL http://www.jssm.net

<入会金・会費振込口座>
 ● 郵便振替 00160-1-262809
 ● 三井住友銀行 神田支店 普通預金 2403456
 口座名 日本セキュリティ・マネジメント学会

8. 役員・代議員・顧問（2018年8月1日現在）

役職	氏名	所属	役職	氏名	所属
会長	大木 榮二郎	工学院大学名誉教授	代議員	甲斐 賢	日立製作所
副会長	松浦 幹太	東京大学	代議員	加藤 美治	富士通
副会長	浅井 達雄	中京学院大学	代議員	橋高 弘武	JOAホールディング
専務理事	長尾 慎一郎	長尾公認会計士事務所	代議員	齋藤 忠和	JBSテクノロジー
執行理事	間形 文彦	日本電信電話	代議員	椎原 正次	大阪工業大学
執行理事	西垣 正勝	静岡大学	代議員	杉浦 昌	日本電気
執行理事	高橋 正和	ブリファードネットワークス	代議員	永井 康彦	日立コンサルティング
執行理事	村山 優子	津田塾大学	代議員	橋本 純生	先端・情報犯罪研究会
理事	川口 元	キヤノンマーケティングジャパン	代議員	萩原 栄幸	萩原ITコンサルティング
理事	北野 晴人	情報セキュリティ大学院大学	代議員	花田 経子	岡崎女子大学
理事	小屋 晋吾	豆蔵ホールディングス	代議員	浜谷 卓美	凸版印刷
理事	竹上 端一	デーシーイー(DCE)	代議員	藤川 真樹	工学院大学
理事	千葉 寛之	日立製作所	代議員	藤田 亮	中央大学研究開発機構
理事	手塚 悟	慶應義塾大学	代議員	文倉 斉	川口市役所
理事	原田 要之助	情報セキュリティ大学院大学	代議員	三品 利郎	コーポレート・ガバナンス研究会
理事	頼永 忍	情報セキュリティ大学院大学	代議員	桃井 義雄	桃井IT技術士事務所
理事	湯川 高志	長岡技術科学大学	代議員	湯浅 壘道	情報セキュリティ大学院大学
監事	清水 恵子	清水公認会計士事務所	代議員	吉浦 裕	電気通信大学
監事	藤本 正代	情報セキュリティ大学院大学	顧問	辻井 重男	中央大学研究開発機構
代議員	相羽 律子	日立製作所	顧問	堀部 政男	一橋大学名誉教授
代議員	芦野 祐樹	日本電気	顧問	佐々木 良一	東京電機大学
代議員	猪俣 敦夫	東京電機大学	顧問	能勢 豊一	大和大学
代議員	岡安 邦男	伊藤忠テクノソリューションズ	顧問	飯塚 久夫	ぐるなび
代議員	織茂 昌之	筑波大学			

9. 名誉会長（2018年7月13日現在）

称号	氏名	所属	称号	氏名	所属
名誉会長	鶴澤 昌和	鶴澤事務所	名誉会長	堀部 政男	一橋大学名誉教授
名誉会長	辻井 重男	中央大学研究開発機構	名誉会長	佐々木 良一	東京電機大学教授